

# 特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を紹介します。  
問合先 農林水産課



## ④5 長野県佐久市

▶平成30年3月27日、  
柳田清二 佐久市長（右）  
と協定を締結



### 佐久市の特産品

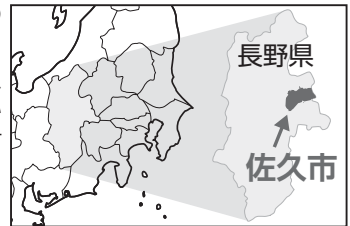


- 面積：423.51km<sup>2</sup>
  - 人口：99,131人・41,522世帯（平成31年2月1日現在）
  - 市の木：からまつ ●市の花：コスモス ●市の魚：佐久鯉
- 佐久市は、長野県下の4つの平の一つ、佐久平に位置し、市の中央を千曲川が流れ、浅間山、八ヶ岳、蓼科山、あらふね山など雄大な山並みに囲まれた美しい高原都市です。江戸時代中山道の宿場町として栄え、現在は北陸新幹線、上信越自動車道、中部横断自動車道が東西南北に走り、首都圏などへのアクセスに優れ、日本のほぼ中央に位置する佐久市は高速交通の結節点、交流圏の拠点として飛躍的に発展しています。

特産品は、うるち米として、コシヒカリが中心に栽培され、ブランド米として五郎兵衛米、切原米などがあります。このほか、酒米であるひとごちも栽培されており、市内に11蔵ある酒蔵では、多種多様な地酒が醸造されています。また、大豆・そば・きびの栽培や、リンゴ・モモ・プルーンなどの果樹を始め、乳用牛・肉用牛等の畜産物が飼育されています。

全国ブランドとして有名な「佐久鯉」は、発祥から200年以上の長い歴史があります。あゆ・信州サーモン・シナノユキマスなどの水産物も高い評価を受けています。

佐久市は、住むすべての「ひと」が「暮らしやすい」、「暮らしが良かった」と思えるまち、心身ともに健やかに暮らせる「快適健康都市佐久」を将来都市像とし、まちづくりを進めています。



- 面積：105.29km<sup>2</sup>
- 人口：352,032人・159,849世帯（平成31年2月28日現在）
- 市の花：うのはな ●市の木：けやき

高槻市は、昭和6年高槻町等の5町村が合併して高槻町が誕生、昭和18年高槻市として市制を施行し、平成15年に中核市に移行しました。現在もJR高槻駅のホーム拡充や新名神高速道路、高槻インターチェンジ、安満遺跡公園を成長基盤として発展を続けています。

特産品としては、トマト、しいたけ、シロウリ、米、タケノコなどの農産物をはじめ、日本酒や和菓子など高槻商工会議所が認定する「たかつき土産」があります。特にシロウリは、平成17年に「なにわの伝統野菜」に認定され、近隣の酒どころであった富田の酒粕を使った漬物（富田漬）等として加工されています。

また、ご当地グルメとして、市北部で昭和50年代頃から親しまれていた「高槻うどんギョーザ」も名物となっています。

高槻市は、都市の魅力と活力を高め、引き続き、子育て・教育・安全安心、高齢福祉などの施策の充実を図ることで5年先、10年先、そして未来に輝く高槻「みらい・創生」を目指して、まちづくりを進めています。



## ④6 大阪府高槻市

▶平成30年4月27日、  
濱田剛史 高槻市長（右）  
と協定を締結



### 高槻市の特産品

